飯田市の大学連携

考え方とこれまでの取組



飯田を拠点に(大学との連携)

◆南信州・飯田フィールドスタディ

(H23年度実績)

★APU立命館アジア太平洋大学 13人 ☆和歌山大学 -人

法政大学63人 (院生を含む)東京大学28人 (院生を含む)筑波大学29人 (院生を含む)

明治大学 19人 高崎経済大学 20人

東京農工大学 87人 (院生を含む) 豊橋技術科学大学 25人 (院生を含む)

名城大学 7人

関西大学 1人 (院生を含む)

関西学院大学47人愛知大学5人神戸大学49人

 中央大学
 49人

 中央大学
 15人

 桜美林大学
 1人

都留文科大学 1人

◆特殊講義(2単位)

東京大学 12人

◆インターンシップ

 桜美林大学
 1人

 都留文科大学
 1人

計 422人

(☆飯田市と友好交流協定等を締結)

南信州・飯田フィールドスタディ

- ○「ニッポンの日本(日本のアイデンティティ)」を考えるきっかけ。そうして、 日本の将来を担っていってほしい。
- ○国の制度等は、地方で機能しているか否か。地方圏のモデル的・自立的な取組から、都市圏と地方圏の関係(国のありよう・国のカタチ)へと視野を広げてほしい。
- ○4年生大学を有しない飯田。多くの若い人たち、専門家・研究者 から意見・提言をいただき、地域経営に生かしていきたい。

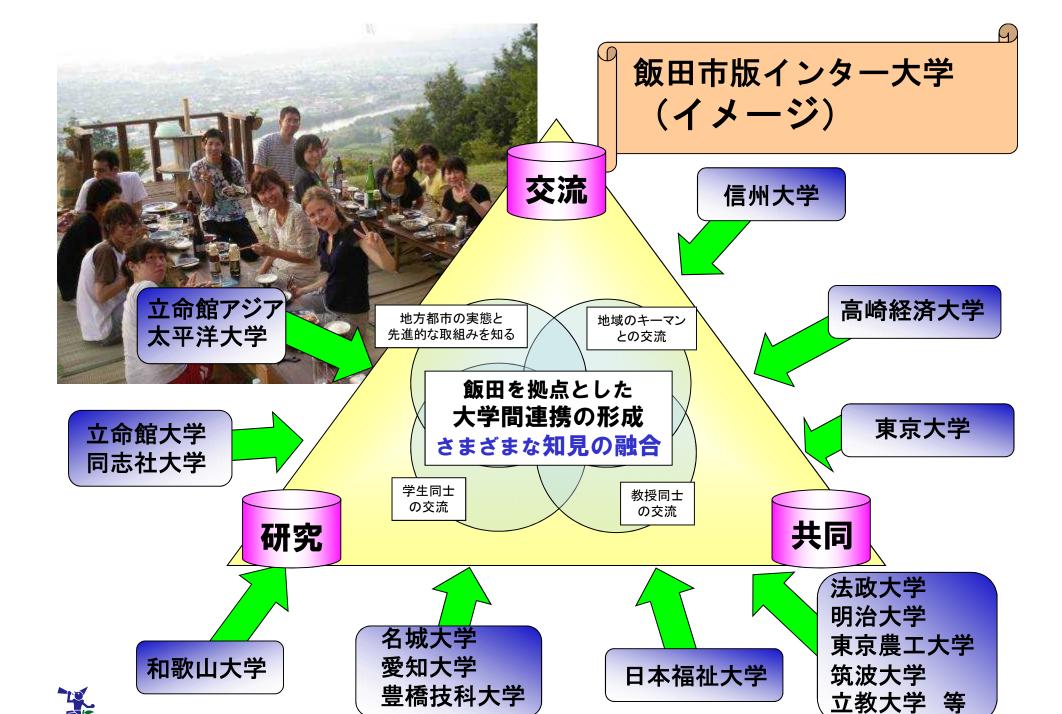


中学生と意見交換

- Q飯田のこと好き?
- Q将来も飯田で暮らしたい?
- Q どうやったら東大に入れるの?



飯田市のフィールドスタディにおける複数大学の共同講義





企画部

シンクタント

産業経済部

飯田インター大学形成 関連

フィールドスタディ・インターンシップ等

地域の知識・財産を大学へ

東京大学

地域と大学とのネットワーク形成 関連

シンポジウム・講演会

地域と大学の交流役進

建設部

名古屋大学

ラウンドアバウト社会実験

信州大工学部 明治大 東京理科大 高専

飯田信金との協働

産業技術大学 関連 大学の知識・財産を地域へ

飯田女子短期大学

携組織の設立

新

連

交流

共同創出

研究・モデル

実践

発信

人材誘導

産学公金 にょる プラットホーム

地域政策地域金融政策

飯田市

常に成長する南信州学びの樹 定 環 TOJ南信州 住 視察受入 ステージ 桜守の旅 境 自 大学フィールト 文 立 スタディ 霜月祭り 食農教育 化 巻 JICA受 天龍峡 都 人形劇 構 セカンド 百年再生 入 フェスタ スクール 市 想 ワーキング 体験教育旅行 ホリデー

地育力

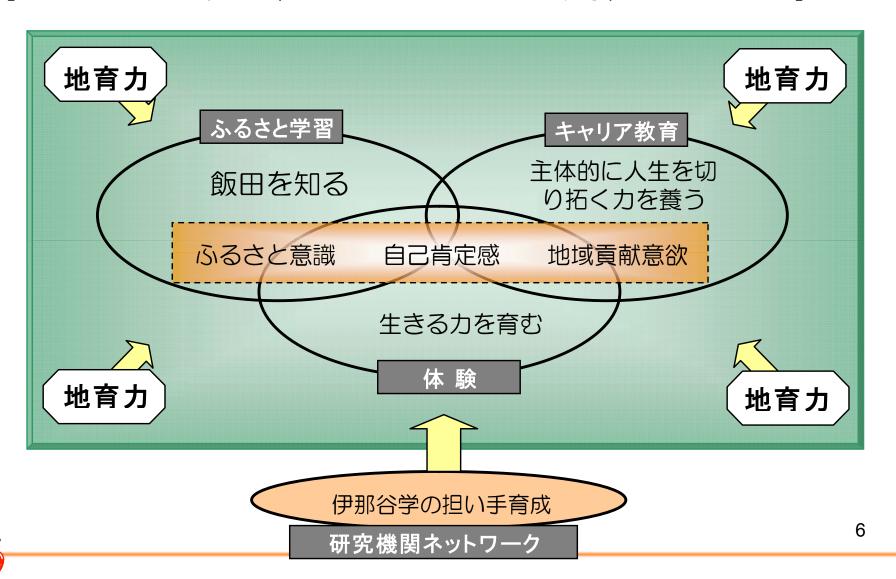
南信州が培ってきた気風と風土

往来・交流 から定住



地育力とは

飯田の資源を活かして、飯田の価値と独自性に自信と誇りを持つ人を育む力 【地育力=地域の資源(自然、文化、歴史、産業等)×地域の人材】



ふるさと飯田で誇りを持って生きるための人生をつくる

~飯田長姫高校(十松本大・飯田市)地域人教育をモデルに~

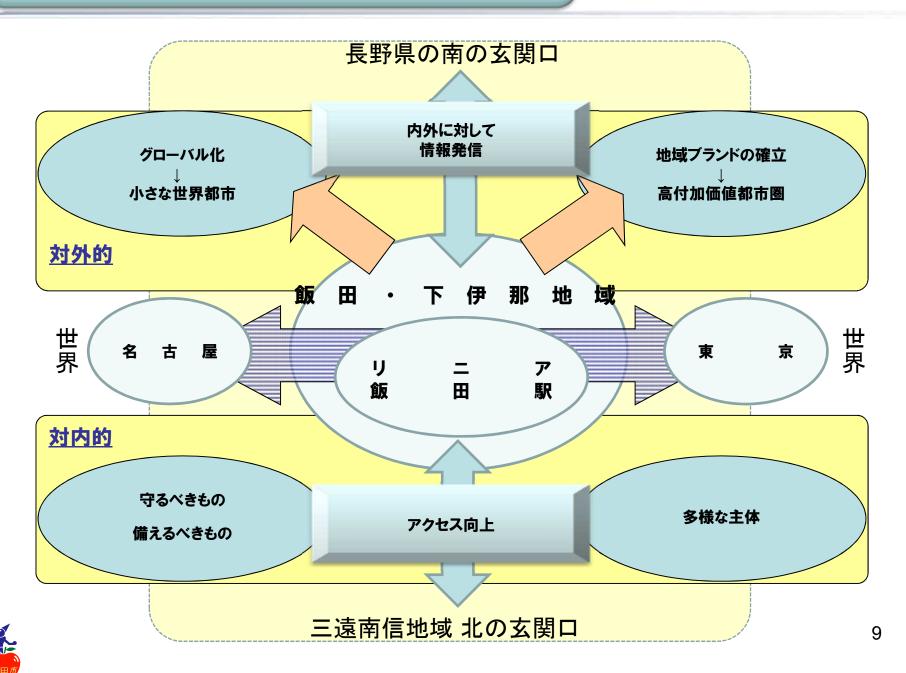
社会人時代 大学時代 高校時代 小•中学校時代 〇松本大学で学ぶ 地域に支えられ、貢 ○飯田で働く 献する、地域密着型 地域人教育による ○飯田で活躍する 「こどもお仕事 の教育 ・地域を学ぶ 探検隊」 〇他大学で学ぶ ・地域に根付いた 「こどもあきん フィールドスタディで 仕事を考える ど塾」 地域や人とつながる ⇒そのための自分の に参加 ・小さな世界都市 ⇒Uターンの素地を 人生をデザインする · 高付加価値都市圏 つくる をつくる中核となる 長姫高校 ・松本大学 松本大学 飯田市 地域人教育で ·飯田市 飯田市 フィールドスタディ による授業応援 サポート 知のネットワーク

飯田市の大学連携

今後の方向性



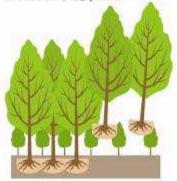
リニア中央新幹線飯田駅を見据えたまちづくりの方向性



「知のネットワーク」による21世紀型戦略的地域づくり

20世紀型の考え方

別の場所で育てられた木を移植し、短期間で 整然とした美しい街を形成することができるが、単 なるハコモノ誘致(人材誘導・人材育成など手入 れが不十分)だと…



- ・根を張るための土壌づ くりが不十分な場合が ある。
- 木が育つための栄養や 水分を与えられない。

社会経済構造の 急激な環境変化

少子高齢化社会 経済のグローバル化etc

- ・根を深く張れない。
- 徐々に立ち枯れていく。
- ・少しの環境変化で 枝や幹が折れてしまう。



街が荒廃して持続できない。

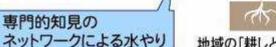


●地域の「耕しと種まき」により発芽させた小さな芽は、 やがて地中深く根を張る大樹へと育つ。

専門的な知見を地域に呼び込むことにより、地域人材

が育成されるとともに、 自立的・自律的な

付加価値の創発をめざす。



地域の「耕しと種まき」

芽出し

地育力・結いの力

成長期

震災後

リニア開通前の



環境変化に耐え得る深い根と丈夫な幹

飯田が培ってきた肥沃な土壌

経済自立度 の向上

経済的な豊かさ + 精神的な豊かさ

地域への愛着・誇り 学びの魅力



飯田大学連携会議「学輪IIDA」

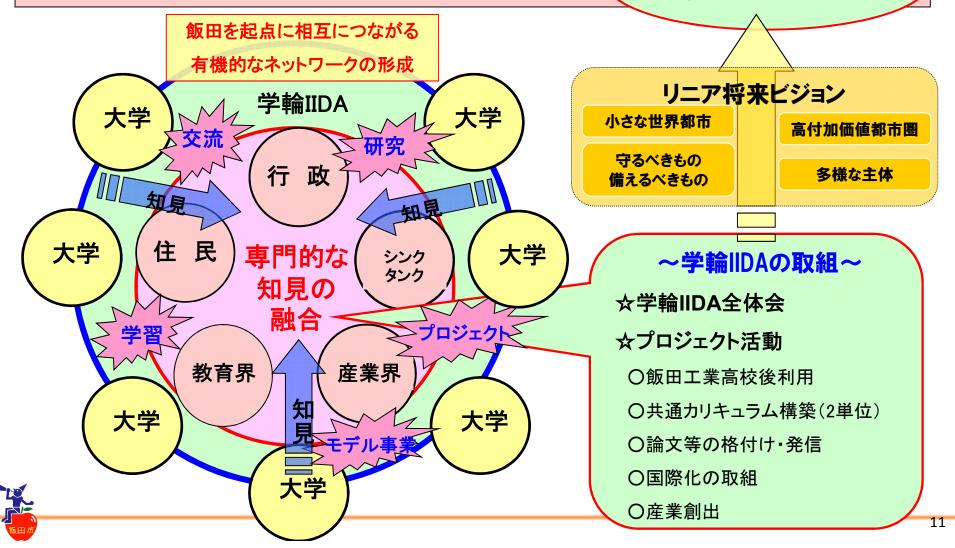
〇平成23年1月、飯田と関係を深めてきた大学・研究者等で設立。現在20大学約60名の研究者等が参画。

○コンセプトは、21世紀型の新しいアカデミーの機能や場づくり。

○学輪IIDAの取組を通じて、研究者同士が相互に知り合い親交を 深めつつモデル的な研究や取組を地域とともに行っていく。

学術研究都市

21世紀型の大学機能を追求



~ 信州大学との共同事業 ~

ものづくり高度人材育成「社会人大学院コース」の実施

「モバイル制御機器技術者育成コース (飯田コース)」

- ~ 飯田市の「ものづくり人材育成」における最も高度な人材育成プログラム ~
- 〇信州大学工学部の協力による講義とシミュレーションを重視した実践的教育
- ○「精密機器制御・高効率生産システム分野」および「移動体の制御すなわちモバイル制御に関す

る分野」を指向している。

飯田市企業

· 多摩川精機 等

信州大学 工学部

- · 電気電子工学科
- 機械システム工学科
- · 物質工学科

飯田市

飯田市

地場産業センタ・

・EMCセンタ

大学院

ものづくり専門職コース

東海地域

三遠南信地域

白動車産業

- ・オプトロニクス ・メカトロニクス
 - · 電子部品産業 航空機産業

修士課程 修了者

【2009年】3月 2名 3名 【2010年】3月 【2010年】9月 2名 【2011年】3月 2名 【2011年】9月 2名 【2012年】3月 2名

合計13名

信大衛星の開発に 飯田地域の企業も 参加し、産学官連 携による研究開発 を推進しています。



可視光通信実験衛星



~和歌山大学との共同プロジェクト~

飯田市美術博物館のデジタルプラネタリウムの新たな試み



デジタルプラネタリウム

- ●平成23年3月に導入 (約8,000万円)
- ●<u>和歌山大学との共同</u>プロジェクトによる活用研究



●文化・教育的活用 のみならず、飯田市 美術博物館の<u>観光的</u> 活用への試み



~立命館大学による調査研究及び発信~ 東日本大震災被災者に対する支援策の提言

南信州における 東日本大震災の被災者への対応

一地域分散型震災支援システムの提言一

立命館大学が、東日本大震災被災者を受け入れ た飯田市及び南信州広域連合の取組について 調査。きめ細やかな対応ができる「地域分散型の 支援システム」の有効性について提言書をまとめ、 国をはじめ関係機関等に対し提言。





立命館大学報告書



14

~東京大学との共同プロジェクト~ 人生リバイバル・プログラムの実施

中高年者のための

人生リバイバル・プログラム



社会が大きく変動する中で、人々の働き方も激変しています。また、社会情勢が不安定な中で、 先行き不透明な未来が、人々に重くのしかかっています。わたしたちは知らず知らずのうちに、 負荷の大きな生活を送り、自分の人生に対して柔軟な考え方を持つことができなくなっています。 それがまた、わたしたちの人生を生きづらいものとしているように見えます。

このたび、わたしたち東京大学と飯田市はともに手を携えながら、人生に悩んでいる人々、とくに人生の転機に立つ 中高年の方々を応援するプログラムを実施することになりました。この社会を少しでも「人が生きるに値する社会」 へと近づけることができればと考えております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

セミナー概要

(1) 2011年11月18、19日 : 東京セミナー (2) 2011年11月25、26、27日: 飯田セミナー

(3) 2011年12月3日

募集要項

対象者 : 人生の転換点に立っている中高年者

募集人数:20名

※応募者多数の場合には、選考の上、結果をお知らせします。

お申し込み方法

募集期間:10月24日(月)~11月6日(日) ウェブ上の申し込みフォームより、お申し込みください。

http://p.tl/pF3r

東京大学大学院臨床心理学コース下山研究室の ホームページからもアクセス出来ます。

※郵送での受付をご希望の方(11月4日必着) 別紙のお申し込み用紙をご利用ください。 受講通知:11月11日までに受講票を送付します。

飯田市が実施している体験教育(修学)旅 行や大学フィールドスタディなどの実績・ノ ウハウに、東京大学が持つ臨床心理学 等の専門性を組み合わせた、人生リバイ バル・プログラムの実施。





~名古屋大学(国際交通安全学会)との共同事業~ ラウンドアバウトの社会実験

ラウンドアバウトは国内ではごく稀にしかなく、実道における実証実験が不足している。 飯田市は、市内吾妻町ロータリーをフィールドに、名古屋大学(国際交通安全学会)や 地域住民と共同で、歩行者等の安全対策についての社会実験を実施。





ラウンドアバウトの特徴

- ・交差点を直進的に通過できないため、速度が低下し事故を軽減
- ・交差点内は1通のため、 安全確認は基本的に右側 のみ
- ・一定の交通量までは信号 交差点よりも待ち時間が短 い
- ・信号機が不要なため、環 境に優しく、信号停電時に も機能する







~学輪IIDA 全体会・プロジェクト活動~ 複数大学の共同による検討・研究活動



- 〇平成23年1月、飯田と関係を深めてきた大学・研究者 等で設立。現在20大学約60名の研究者等が参画。
- 〇コンセプトは、21世紀型の新しいアカデミーの機能や 場づくり。
- 〇具体的な取組
 - ※学輪IIDA全体会
 - ※プロジェクト活動
 - ○飯田工業高校後利用 共通カリキュラム構築
 - 〇 論文等の格付け・発信 〇国際化の取組 〇産業創出

動き出したプロジェクト



飯田工業高校後利用PJの視察研修

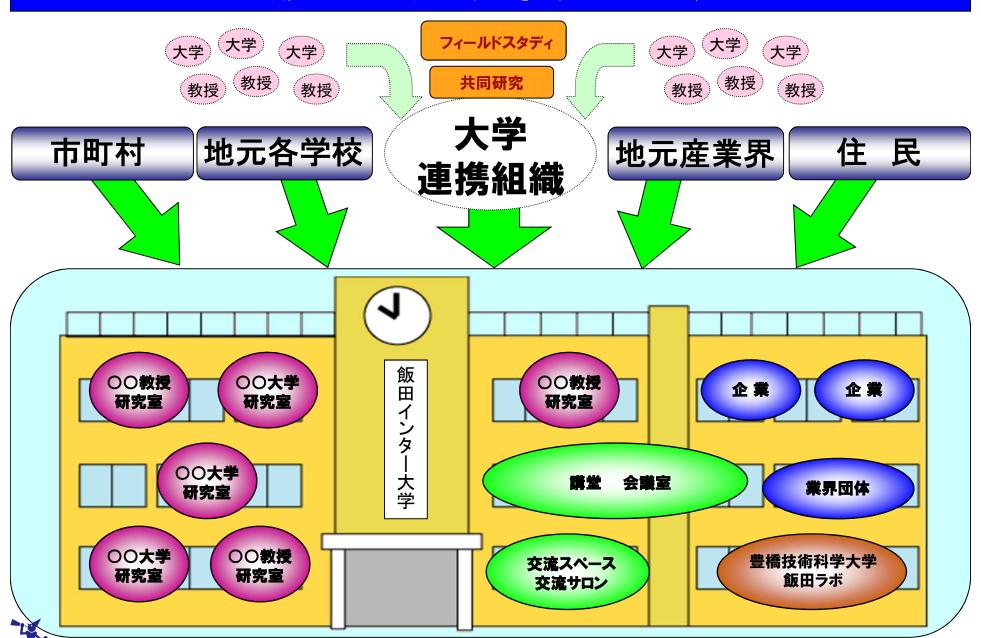


共通カリキュラム構築等に向けたPJ会議



「学術研究都市」 飯田市の大学連携 21世紀型の 中高 学輪IIDAの今後の方向性 大学機能を追求 リニア 2027 ~飯田インター大学を目指して~ 飯田駅 小さな世界都市 高付加価値都市圏 企業人 修士論文 研究者 飯田版 産学官 調査·分析 共同プロジェクト ダボス会議 院生等 2013 (H25).04 飯工高後利用 インターンシップ 飯田統合新高 開校 産学官 2011 (H23) .01 拠点性UP 共同研究等 卒業論文 飯田大学連携会議 「学輪IIDA」 2010 (H22) .10 研究者・企業人・学生等の 豊橋技科大 インターンシップ 往来增加 サテライト・ラボ 3泊4日 地域との 飯田を学ぶ 共同学習等 2008 (H20) 吸引力UP 発信力 UP 南信州飯田 認知度 UP ールドスタディ ___18 飯田ファンの創

飯田インター大学(イメージ)



長野県飯田工業高等学校(現況)

